〈4カリ・教育学部〉

科　目　名	科目区分	開講年次	必・選	開講期	単位数	担当教員名	担当形態
初等教科教育法(国語)	専門 (教職／小)	2・3	小 必修	前期	2	遠 藤 真 司	クラス分け
英語科目名	Teaching Method of Language Arts in Elementary School		実務経験のある教員による授業科目				

免許法施行規則に定める科目区分	教職に関する科目（小学校）
	小学校　：　（教育課程及び指導法に関する科目／各教科の指導法）

＜授業概要＞

国語科の授業を実践するに際しての教材研究の観点と手法、授業構想の立て方を体得する。同時に国語科教育の今日的課題を意識した指導者としての資質と能力を養成する。小学校国語科の本質・目的、教育課程と教科の構造・方法について解説するとともに、国語科を学ぶ児童の特質を理解するよう指導する。低学年、中学年、高学年それぞれの代表的な教材を使用して、教材研究の仕方、学習指導の要点などを学ぶことができるようにし、それをもとに他教材について指導技術が生かされるようにする。公立小学校教諭として 19 年間、児童に国語の授業を行っていた経験を生かして、数多い児童の反応を示しながら、学校現場における実践的な指導力を養う。

＜到達目標＞

小学校の国語科授業の特質を理解し、児童の実態を考えた授業づくりができるようになる。特に新学習指導要領で位置づけられた「主体的・対話的で深い学び」を国語の授業でどう実現するかの授業構想力を身に付け、模擬授業を行って受講生同士で互いに学び合い、よりよくしていくにはどの点を改善していくかという授業分析力が身に付く。最終的には本授業で活用した教材だけでなく、他教材にも生かすことができる学習指導力を修得し、児童の学習の特徴、児童理解力を身に付ける。

＜ディプロマポリシー＞

・コミュニケーション力、情報収集・活用力をのばし、自律的に学ぶ力、自己研鑽力を身につけている。
・「アクティブ・ラーニング」「ICT の活用」「実践的道徳教育」「特別に支援の必要な児童生徒への対応」などの指導力を身につけ、初等教育専攻のものにあっては「さまざまな教科の幅広い知識と指導力」、中等教育専攻のものにあっては「専門教科に関する高い知識と指導力」を修得している。

＜学生へのフィードバック＞

提出されたレポートについて、その内容のよさと課題を記したうえで、今後さらによい考えを持つためには何が必要となるのかをコメントしてフィードバックを行う。

＜授業／AL の進め方＞

グループワーク型

学習課題については教員が提示したり、あるいは受講生たちが考えたことを課題にして提示したりする。受講性の中で少人数グループを作り、協働的に課題解決を行い、その内容についてグループごとに発表を行う。発表後は必ず個人で振り返りを行い、レポートを提出する。

＜利用する ICT 機器＞

PC、電子黒板、タブレット、スクリーン

＜成績評価＞

【評価方法】授業中の態度、発言、発表、グループワークの内容が５０％、レポート５０％、
【評価基準】小学校国語教育全般について、新学習指導要領の意味や背景、今日的な課題を理解した上で、授業の構想、分析などを経て、学習指導の実践的指導力を身に付けているかどうかで評価する。

＜教科書＞

「小学校学習指導要領（平成２９年告示）解説国語編」文部科学省

＜参考書＞

「小学校１学年国語の授業」（新読書社）「小学校２学年国語の授業」（新読書社）「小学校３学年国語の授業」（新読書社）「小学校４学年国語の授業」（新読書社）「小学校５学年国語の授業」（新読書社）「小学校６学年国語の授業」（新読書社）

＜受講学生へ＞

常日頃から身近なものから題材をとらえ、それを小学生にわかりやすく伝えるとしたら、どのように話したり、書いたりするのが効果的かを考える。

【授 業 計 画】

第１回	授業内容	小学校国語科の目的、教育課程と国語科の関連を知る。そのうえで児童を育てる国語学習力についてグループ演習を行い、自分の考えを明確に持ち学習指導計画を立てる。
	事前事後学修	小学校学習指導要領国語編を事前に読み（３時間)、授業後に概要を振り返る（１時間)
第２回	授業内容	低学年の文学指導：教材文を通して、教材研究の仕方、学習指導の要点を知る。グループ演習を行い、効果的な指導の工夫を検討し、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「スイミー」の指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（１時間)
第３回	授業内容	低学年の説明文指導：教材文を通して、教材研究の仕方、学習指導の要点を知る。グループ演習を行い、効果的な指導の工夫を検討し、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「たんぽぽのちえ」の指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（１時間)
第４回	授業内容	中学年の文学指導：教材文を通して、教材研究の仕方、学習指導の要点を知る。グループ演習を行い、効果的な指導の工夫を検討し、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「ごんぎつね」の指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（１時間)
第５回	授業内容	中学年の説明文指導：教材文を通して、教材研究の仕方、学習指導の要点を知る。グループ演習を行い、効果的な指導の工夫を検討し、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「すがたをかえる大豆」の指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（１時間)
第６回	授業内容	高学年の文学指導：教材文を通して、教材研究の仕方、学習指導の要点を知る。グループ演習を行い、効果的な指導の工夫を検討し、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「海の命」の指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（１時間)
第７回	授業内容	高学年の説明文指導：教材文を通して、教材研究の仕方、学習指導の要点を知る。グループ演習を行い、効果的な指導の工夫を検討し、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「想像力のスイッチを入れよう」の指導計画を立て（３時間)、授業後に修正（１時間)
第８回	授業内容	低学年の作文指導：実際の作文例をもとに、グループ演習を行い、よりよい生活作文の買い方について討議をして、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「学校行事」の作文指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（1 時間)。
第９回	授業内容	中学年の作文指導：実際の作文例をもとに、グループ演習を行い、よりよい生活作文の買い方について討議をして、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「読書感想文」の作文指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（1 時間)。
第 10 回	授業内容	高学年の作文指導：実際の作文例をもとに、グループ演習を行い、よりよい生活作文の買い方について討議をして、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「意見文」の作文指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（1 時間)。
第 11 回	授業内容	「話す・聞く」の指導：実例をもとにしてグループ演習を行い、よりよい「話し合い活動」について討議をして、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「話し合い活動」の指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（1 時間)。
第 12 回	授業内容	「話す・聞く」の指導：実例をもとにしてグループ演習を行い、よりよい「話し合い活動」について討議をして、自分の指導方法を確立する。
	事前事後学修	「スピーチ、討論」の指導計画を立て（３時間)、授業後に修正する（1 時間)。
第 13 回	授業内容	学習指導案：自分の希望する領域、教材を選び、学習指導案を作成する。グループ演習を行い、お互いに意見を出し合い、よりよい指導案を作りあげる。
	事前事後学修	模擬授業の指導案を作成し（３時間)、授業後に修正する（１時間)
第 14 回	授業内容	模擬授業：学生相互に授業を見て感想を述べ合う。グループ演習を行い、自分の授業づくりにどう生かせるかを考える。
	事前事後学修	模擬授業の指導案を作成し（３時間)、授業後に修正する（１時間)
第 15 回	授業内容	まとめ：これまでの授業を振り返り、国語指導に対する自分の考えを持ち、互いに意見交流をする。グループ演習を行い、話し合われたことをもとに自分の考えを明らかにす
	事前事後学修	これまでの授業概要を復習して（３時間)、授業後に本授業の学びを振り返る（１時間)